



天文学の扉を開こう

3月の夜空

続・ベテルギウスに異変が起きている!?

さて、先月ご紹介したオリオン座のベテルギウス(右図)が暗くなっているという話ですが、この原稿を書いている2月13日の時点では、いまだに明るさが回復する兆しが見られず、ついに2等星に陥落してしまいました。

もともと、ベテルギウスは膨張と収縮を繰り返して明るさが変化する「脈動変光星」として知られ、膨らむと表面の温度が下がって暗くなり、縮むと温度が上がって明るくなります。これまでは、おおよそ0等級から1.3等級の間で明るさが変化してきました。しかし、今回の大幅な減光は、この範囲を逸脱して、きちんと明るさが測定されるようになった過去数十年で1番の暗さだといわれています。天気予報のように表現すると、「観測史上最も暗い」というわけです。



この急激な減光は、瀕死の星が自ら吹き出した塵に包まれ、光が外に出にくくなっているためだとする説があり、その場合、だんだん暗くなって最後に超新星爆発を起こすというシナリオに合います。一方で、今回の減光は必ずしも超新星爆発に直結するものではない、という考えもあります。最もオーソドックスな説は、ベテルギウスのいつもの明るさの変化と変わらないというものです。ベテルギウスは、明るさがやや不規則に変化する「半規則型変光星」で、厳密なものではありませんが、いくつかの周期が重なっていると考えられています。特に、約430日周期と約6年周期が目立っていて、今回の減光はこの2つの周期がたまたま重なったためだといわれています。

この説が正しいとすると、2月21日頃にベテルギウスの明るさは底を打って、だんだんと回復しているはずですが、この原稿がお手元に届くころには、ベテルギウスは再び1等星に返り咲いているかもしれませんね。



3月のぐんま天文台のイベント

・14日(土) 星空さんぽ

○星図の説明

3月15日午後9時の高山村の星空。
月初めの午後10時、月末の午後8時頃にも同じ星空になります(「月」を除く)。



リトルミュージアム

「おひなさまを作りました！」



あべ れんたろう くん
「大きくなったら、「サッカー選手」になりたいです！」



なかざわ けいた くん
「大きくなったら、「自衛隊」になりたいです！」



たむら ななみ ちゃん
「大きくなったら、「ファントミラージュの紅羽セイラ」になりたいです！」



うめざわ いつき ちゃん
「大きくなったら、「ファントミラージュの紅羽セイラ」になりたいです！」



※わが家のアイドル(6カ月～4歳未満)を常時募集しています。掲載を希望される保護者の方は、役場地域振興課へお電話ください。お待ちしています(*^_^*) ☎26-7944(直通)



五領 山口 彩七ちゃん(2歳)

私の名前は「さな」です。
私の名前は、多くの幸せに彩られることを願って、ママから一字もらって付けてもらいました。
お人形遊びが大好き！お姉ちゃんの真似をして遊ぶのもお気に入りです。ママのたまご焼きとブロックリーが大好きで、いつもたくさん食べちゃうんだよ！

★とにかく食べることが大好きな彩七ちゃん。毎日お姉ちゃんとトイ・ストーリーのDVDを観ています。これからも仲良くね、とママ。

こちら「10代目緑のふるさと協力隊」

こんにちは！私の任期も残すところあと1カ月となつてしまいました。今思い返せば、着任したのがついこの前のように思います。私が4月に初めて高山村に着任した時は、季節はずれの雪が降っていたことも記憶に新しいです。

先月も金甲稲荷祭典や生涯学習推進大会などの村内行事に参加しました。任期終了間近でも初めて知り合う方もいて、高山村は小さな村ではありますが広く感じました。

また、先月は村外の方とも交流を深めることができました。群馬県の地域おこし協力隊交流研修会に参加し、そこで様々な方の活動についてお話を聞くことができました。同じ市町村の中でも隊員によって活動内容もそれぞれ異なっており、地域おこし協力隊の活動はとてもバ



リエーションに富んでいると思えました。
私は金甲稲荷祭典では篠笛を吹けるようになりました。私にとって篠笛を吹くことは決して簡単ではありません。私が吹けるようになったのは、合同練習でいる方々から丁寧に教えていただいたおかげです。残りの任期も「緑のふるさと協力隊」として最後まで全力で活動に取り組みます。温かく見守っていただければ幸いです。あとわずかですが、よろしくお願ひします！

緑のふるさと協力隊ブログ <http://taka-midori10.jugem.jp/>